

2025年8月期

決算説明資料

THE WHY HOW DO COMPANY株式会社

2025年10月15日

2025年8月期 業績サマリー

売上高

17.5億円

+134.3%

営業利益

△0.7億円

+1.8億円改善

経常利益

△7.8億円

一過性要因84%

現預金

22億円

2025年9月30日現在

- ✓ 2024年9月、ドリームプラネット取得、M&A（事業再成）事業の中心に据える事をXにて発表
- ✓ 2025年7月、亀田信吾が執行役員社長CEOに就任。「脱・個人化」を推進
- ✓ 小室哲哉氏関連事業が想定を上回る好調な業績。新たな収益の柱として確立
- ✓ 産廃事業撤退による一過性損失△6.6億円（経常損失の84%）。本業は堅調

業績推移

	2024年8月期	2025年8月期	前期比	2026年8月期予想
売上高	7.4億円	17.5億円	+134%	33.7億円
営業利益	△2.4億円	△0.7億円	+1.7億円	—
経常利益	△2.9億円	△7.8億円	△4.9億円	—
EBITDA	△2.2億円	△0.1億円	+2.1億円	—
修正EBITDA	—	△0.1億円	—	1.4億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

※ 修正EBITDA = EBITDA + M&A手数料 + DD費用

2026年8月期 業績予想

売上高

33.7 億円

前期比+93%

修正EBITDA

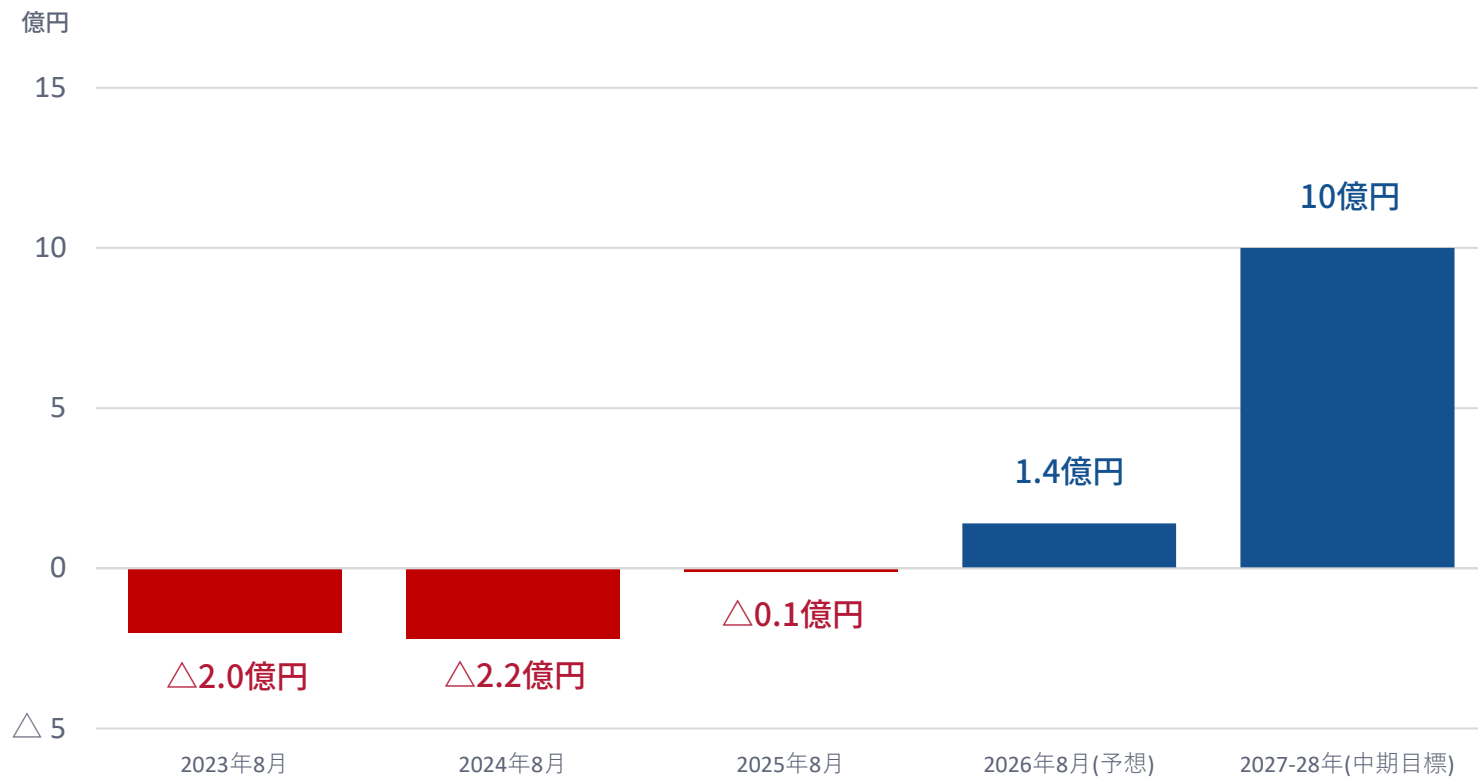
1.4 億円

黒字化達成

成長ドライバー

- ✓ M&A戦略本部による新規案件推進
- ✓ 小室哲哉関連事業のさらなる拡大
- ✓ AIバリューアップ本部による効率化
- ✓ 子会社事業の成長（カプセルトイ、肉浜BBQ等）

修正EBITDA推移



M & A戦略とPMI実績

累計M&A実績

28件+

2025年8月期実績

5件

ドリームプラネット

統合成功

買収前を上回る収益性

スティルアン

子会社化完了

2025年10月1日

WHDCアクロディア

事業拡大

カプセルトイ事業好調

2025年9月 M&A戦略本部設置 | 戦略的買収の発掘から実行・PMIまで一貫管理

事業ポートフォリオ

1

M&A支援

人助けの気持ち

- M&A戦略本部
- PMI徹底
- 案件発掘

2

AI活用

企業価値向上

- AI実装
- IPXサービス
- 先進事例研究

3

小室哲哉関連

想定超える好調

- OVAL SISTEM
- t-Aceコラボ
- DMM TV

その他

・ 飲食（肉横丁・肉浜BBQ） ・ 美容（サンライズ） ・ カプセルトイ ・ 社会貢献（保護猫）

中期目標 (2027-2028年)

EBITDA

10億円

- 売上高成長率 年平均30%以上
- 営業利益率 10%以上
- ROE 15%以上

「人助けの気持ちこそ、M&Aの原点」

- ✓ 新体制のもと、M&A戦略とAI活用で成長を加速
- ✓ 小室哲哉氏関連事業を新たな収益の柱として確立
- ✓ 修正EBITDAを重視し、キャッシュフロー創出能力を最大化
- ✓ PMIを徹底し、全M&A案件で増収・増益を実現
- ✓ 2027-2028年にEBITDA 10億円達成を目指す

持続的な成長により、企業価値の向上を実現します

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信をご参照ください。